

2016年11月25日
株式会社東陽テクニカ

日本初!※¹ IoT用無線通信規格 LoRa の公式認証試験ラボに認定 — LoRa Alliance 認証試験サービス提供開始 —

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）と、無線通信デバイスの認証試験ラボとして世界有数のネットワークを持つ AT4 wireless 社（本社：スペイン アンドルシア州マラガ）が共同で運営する「東陽テクニカ/AT4 wireless 日本ラボ」は、11月18日に日本初の LoRa Alliance※² 公式認証試験ラボとして認定されました。これに伴い、LoRa Alliance 認証試験サービスを11月25日より開始いたします。本サービスを実施するのは、11月1日に発足したサイバーセキュリティサービスならびに無線通信端末ラボ試験サービスを提供する東陽テクニカの社内カンパニー、セキュリティ&ラボカンパニーです。

LoRa は現在急成長を遂げる IoT の規格の一つです。IoT デバイスに適した LPWA※³ と呼ばれる低電力で広範囲をカバーする無線通信技術を採用し、欧米や韓国を中心に普及が進んでいます。日本国内においても、LoRa を採用したデバイスの実証実験が始まるなど、注目の集まるテクノロジーです。LoRa のネットワークを使用するためには、LoRaWAN※⁴ への準拠が必須です。LoRa Alliance の認証を取得することにより、LoRa ロゴマークの使用が可能となり、品質が保証されたデバイスであることを消費者へ簡単にアピールできるようになります。デバイスの認定には、LoRa Alliance 認定ラボにて認証試験を行い、デバイスが LoRaWAN の要求を満たしていることを確かめる必要がありますが、これまで日本には、LoRa Alliance の公式認証試験ラボがなく、LoRaWAN 準拠の試験ができる環境はありませんでした。

今回東京・日本橋の東陽テクニカ テクノロジーインターフェースセンター内にある「東陽テクニカ/AT4 wireless 日本ラボ」は、日本で初めて LoRa Alliance の公式認定を受け、LoRa Alliance 認証試験サービスを提供します。試験では LoRa Alliance の認定を受けた試験ツールを使用し、LoRaWAN 準拠の試験を実施します。パートナー企業である AT4 wireless 社は、欧州および北米において既に LoRa Alliance の公式認証試験ラボを運営しており、LoRa Alliance 認証試験の実績があります。さらに、AT4 wireless 社が独自開発した LoRaWAN 専用試験ツール「TACS4 LoRa Test Tool」は、LoRa Alliance から公式試験ツールとして認定を受け、確かな実績と技術スキルに裏付けられた AT4 wireless 社と連携することで、セキュリティ&ラボカンパニーは質の高いサービスを提供していきます。

【主な特長】

● 日本初の LoRa Alliance 公式認証試験ラボ

公式試験ツールを用いて LoRa Alliance 認証試験サービスを実施

● LoRa Alliance 公式認定ラボとしてのサポート

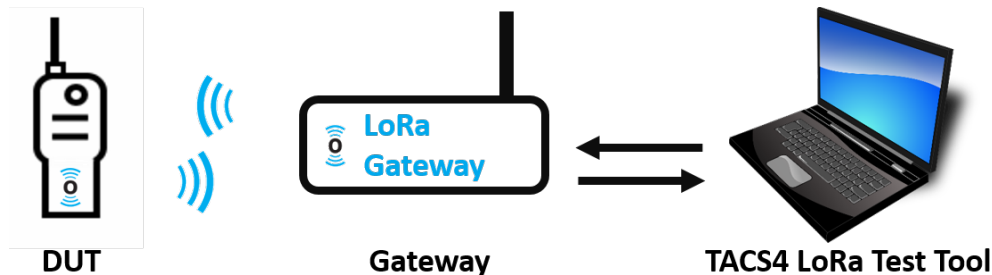
本試験前のプレ試験として、LoRaWAN 準拠の試験環境を提供

公式試験ラボである AT4 wireless 社のエンジニアによる試験サポート

【提供する試験環境】

提供する試験環境は LoRa ゲートウェイと、認証試験のために AT4 wireless 社が独自開発した LoRa Alliance 公式認定試験ツール「TACS4 LoRa Test Tool」から構成される。試験ツールは、被試験機（DUT）とゲートウェイが接続し通信が始まった後、DUT から送信されたデータがゲートウェイを経由してテストツールに転送される一連の通信動作が LoRaWAN に準拠しているかを判断し、合否を決定する。

テストごとに取得される試験ログは、解析することで、デバイス開発に不可欠なデバッグに役立ちます。



<試験環境のイメージ図>

【ラボ所在地】

「東陽テクニカ/AT4 wireless 日本ラボ」

住所：東京都中央区日本橋本石町 1-1-2

株式会社東陽テクニカ テクノロジーインターフェースセンター内

アクセス：http://www.toyo.co.jp/company/access/#access_ti

TEL：03-3245-1245（直通）

E-mail：SLC_Lab@toyo.co.jp

※1：2016年11月時点。東陽テクニカ調べ。

※2：LPWA^{※3}を利用したIoT規格であるLoRaを提案する団体の名称。

※3：Low Power Wide Areaの略称。電源消費が少なく、電波の届く範囲の広い無線通信技術のこと。IoTデバイスの通信技術として適しており、LPWAを利用できる通信インフラの普及が進められている。

※4：LoRaWANは、LoRa Allianceによって策定されたオープンスタンダード規格の名称。LoRaのネットワークを使用するためにはLoRaWAN規格に準拠している必要がある。

<セキュリティ&ラボカンパニーについて>

セキュリティ&ラボカンパニーは2016年11月1日に発足したサービス（役務）事業に特化した、東陽テクニカの社内カンパニーです。従来の物販事業とは異なり、サイバーセキュリティサービスならびに無線通信端末ラボ試験サービスを提供していきます。無線通信端末ラボ試験サービスは2015年からドイツのDEKRAグループと連携して進めており、サービス内容を拡充することによって、さらなる成長を目指します。

社内カンパニー「セキュリティ&ラボカンパニー」設立に関するお知らせ：

http://www.toyo.co.jp/files/user/img/news/pdf/161031_in-housecompany_65106.pdf

<AT4 wireless（エーティーフォーワイヤレス）社について>

AT4 wireless 社（本社：スペイン アンダルシア州マラガ）は、世界有数の試験ラボネットワークを持ち、無線通信技術を搭載したデバイスに対する試験サービスを提供しています。提供する試験サービスは、IoT 規格である LoRa や AllJoyn を始め、Wi-Fi・Bluetooth や GCF・PTCRB などの業界ロゴ認証、セルラー（2G/3G/LTE）搭載デバイスのオペレーター受入試験、200ヶ国以上の無線通信機器に対する法規制向け型式認証、など多岐に亘ります。試験ラボはスペインの他、米国・台湾・チリにあり、また2013年には東陽テクニカと共同で、東京・日本橋の東陽テクニカ テクノロジーインターフェースセンター内に試験ラボを開設しました。2015年に自動車や医療分野の試験サービス大手 DEKRA 社（本社：ドイツ）の傘下に入り、試験ラボネットワークの拡大と提供する試験サービスの増強を行っています。

AT4 wireless 社 Web サイト：<https://www.at4wireless.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953（昭和28）年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、530名を超える全従業員の約7割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ セキュリティ&ラボカンパニー ラボサービス ビジネスユニット

TEL：03-3245-1245（直通） E-mail：SLC_Lab@toyo.co.jp

「東陽テクニカ/AT4 wireless 日本ラボ」試験サービス紹介サイト：

http://www.toyo.co.jp/ict/products/list/contents_type=1582

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。